

アバント行政区、ポマッス郡、ベナン共和国
アバント公立幼稚園
2 棟の建物（2 教室と事務室）と 1 棟の建物（台所、倉庫）の建築
および 1 棟のトイレの設置

1. 作業報告

アバント幼稚園を初めてみたとき、私たちはちょっと途方にくれました。狭い険しい土地の上に、二軒の丸い小屋と壊れかかった台所から成り立つ幼稚園でした。



方針が定まらずに私たちが議論していると、ローゼンハイム・クライスの建築家たちから連絡があり、私たちのプロジェクトをぜひ一度支援したいということでした。渡りに船とばかりに、私たちはアバント幼稚園のことを提案しました。それからフォアダーフバーさんが建設予定地を見に、ベナンへいらっしゃいました。測量をし、アイデアを交換しました。ドイツへ帰国後、そのアイデアは具体的な提案に姿を変え、それを私たちはポマッスの自治体に伝え、そこで最終的な選択が行われました。

自治体の署名を得ると、私たちはアバントの人たちを総会に招きました。いつものように契約を朗読しました。質疑応答が済むと、契約の採決が行われました。



それからすぐに作業が開始しました。子供たちは隣接した小学校へ一時的に引っ越し、村人たちはこれまでの建物を崩しにかかります。この間に私たちは砂、砂利、鉄材とセメントを購入し、アバントへ運送しました。左官工はコンクリートブロックを作りはじめ、その傍らで鉄筋工は、基礎と支柱用の鉄筋を急いで用意しました。建設用地がカラになると、測量と位置出しが行われました。



雨が降ろうが、晴れようが、作業に休みはありません。村長はすべての作業において、最良のパートナーでした。地面が非常に固かったため、基礎の溝を掘るのに通常より時間がかかりました。さらに、土地の傾斜のせいで、あらゆる作業には苦労がたえません。それでも溝がやっと出来上がると、コンクリートの下地が流され、その上に鉄筋が組まれました。



その上にコンクリートを打設しました。それからあっという間に基礎壁が出来ました。



下部のアンカーボルトが設置され、上に壁が伸びていきます。窓の下辺部も鉄筋で補強されました。



壁が窓の上まで届くと、上部の鉄筋アンカーにコンクリートを打つための型枠が設置されました。内側ではベランダの支柱も同様に型枠で覆われ、コンクリートが流されました。



やがて建物の壁が完成しました。感想のため必要となる 2 週間を待つ間に、屋根の材木を買い、製材所で切断してもらいました。



屋根がこしらえられ、屋根板が置かれました。



その間に、トイレの貯留槽も掘られ、



壁で補強されました。

その上にトイレ小屋出来上がりました。



村人が教室の床を砂で充填している間に、左官工は壁に漆喰を塗りました。



大きな格子が据え付けられました。



左官仕事が終わりました。



こんどはペンキ職人たちの出番です。彼らは素晴らしい仕事をしてくれました。



教室の内壁も、とても美しく彩られました。



ロゴも描かれました。





仕事の成果は想像以上でした！ 私たちはこれをとても誇りに思います！

友人や支援者のみなさまに心よりお礼を申し上げます。特にローゼンハイム・クライスのみなさま、ありがとうございました。アイディアはそこで生まれ、ローゼンハイムからの激励が作業の間、大きな助けとなりました。完全に計画どおりにはならなかったかもしれませんが、基調は一致しています。ローゼンハイムのみなさまのご支援がなかったら、この学校はこのようにはならなかったでしょう。心よりお礼申し上げます。

當田アストリット